

教科・科目	【 数学 ・ 数学 I 】	単位数 : 3単位 履修年次 : 1年次
目標	数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。	
教材	高等学校 数学 I (数研出版) チャート式 解法と演習 数学 I (数研出版), 4プロセス 数学 I (数研出版)	
学習方法	単元ごとで「何を、どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」を意識しながら授業に臨むこと。その上で授業は集中して真剣に聞き、疑問点はすぐに解決すること。授業で習ったことをその日のうちに復習し、問題集の問題で実践してみること。授業のノートとは別に問題演習用(課題提出用)のノートを用意すること。また、単元終了ごとに自己の学びを振り返って目標達成状況を確認し、学びの質を高めること。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価方法	定期考査, 実力テスト, 単元テスト, 小テスト	定期考査, 実力テスト, 課題レポート	授業に臨む姿勢, 自己評価シート, その他の自主的な取り組み

麻高G P					
	1 自律性	2 協働性	3 主体性	4 課題解決能力	5 情報活用能力
					
	6 実践・発信力	7 メタ認知能力	8 探究心	9 チャレンジ精神	10 レジリエンス力

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	第1章 数と式【第1節 式の計算 第2節 実数】	第1回定期考査 小テスト 課題レポート 単元テスト
	6月～ 8月	第1章 数と式【第3節 1次不等式】 第2章 集合と命題	第1回実力テスト 第2回定期考査
	9月	第3章 2次関数【第1節 2次関数とグラフ】	
後期	10月～ 11月	第3章 2次関数【第2節 2次関数の値の変化 第3節 2 次方程式と2次不等式】	第3回定期考査 小テスト 課題レポート 単元テスト
	12月～ 2月	第4章 図形と計量	第2回実力テスト 第4回定期考査
	3月	第5章 データの分析	

● [評価基準]

	(考査以外) の評価割合	定期考査 の評価割合			学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末 の評定
知識・技能	10	70			A ～ C	5 ～ 1
思考力・判断 力・表現力	10				A ～ C	
主体的に学習に 取り組む態度	10				A ～ C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1